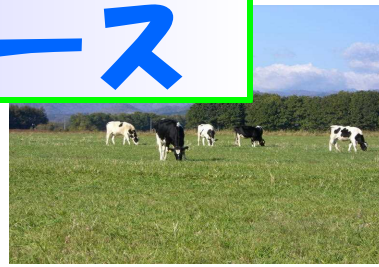
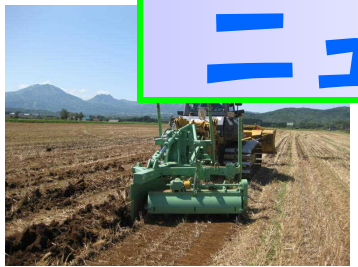


▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第2号)

令和2年も師走に入りました。
今年一年は、新型コロナウイルスの感染拡大で大きく揺れ動いた年となりましたが、穏やかな年末年始となりますことをご祈念いたします。
農業公社ニュースの第2号をお届けいたします。

※ 創刊号でふれました創立50周年記念スライドショー(=当公社職員製作)ですが、次のとおりHPに掲載しましたので、お知らせします。

<https://www.adhokkaido.or.jp/50th.html>

(順不同)

■ コロナ禍を契機にオンライン会議の取組を本格化

コロナ禍を契機として、働き方にも大きな影響が出ており、緊急・非常事態時の対応や当公社の本支所間の活発な情報共有などを主な目的として、オンライン会議システムを年内に本格導入します。

11月には、このシステムの試行として、支所長・場長会を初めてオンラインで開催しました。

オンライン会議の導入によって、公社内での活用はもちろんのこと、インターネット環境下では、外部機関・団体との遠隔コミュニケーションを図ることが可能になりますので、今後、幅広い活用を通じて、より一層円滑な業務の遂行に努めてまいりたいと考えております。

【総務部】

■ 来春の採用内定者として14名を決定

令和3年4月採用の内定者として、全体で14名(=総合事務職:5名、総合技術職:6名、オペレーター職:3名)が決まりました。

さる10月には内定者懇談会を開催し、来春4月からの入社に向けて、会社の組織風土への理解や内定者間の同期意識の醸成などを図っています。

3名のオペレーター職は、新規高校卒業予定者であり、オペレーター職では十数年ぶりの新規採用者となります。草地整備改良を主体とした農用地開発整備事業の安定的な実施に向け、オペレーター職の人材確保は重要な課題となっており、今後も意欲的な人材の確保に努めてまいります。

【総務部】

■ 89名の専門家を登録し、経営相談に対応

農業経営相談室が実施している「北海道農業経営相談所」業務につきましては、新型コロナウイルス感染拡大等の影響で本格的な稼働は7月からとなりましたが、現在、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、行政書士、法人経営者など89名の専門家を登録し、随時、経営相談を受け付けています。

相談案件につきましては、地域の農業改良普及センターやJA等と連携しながら、課題に応じて、専門家の派遣等必要な支援を実施しています。

▼ 経営相談の詳細及びお申込みはこちらから

(公財)北海道農業公社内

北海道農業経営相談所ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/keieisodan/keieisodan.html>

【お問い合わせ先】 電話番号：011-522-5579

【農業経営相談室】

■ 研修を受ける就農希望者に対する農業次世代人材投資（準備型）事業の活用を！

農業次世代人材投資（準備型）事業は、就農に向けて北海道が認める研修機関等（二道立農業大学校等の教育機関や先進農家・先進農業法人等）で研修を受ける就農希望者に対して、予算の範囲内で、交付期間1年につき1人あたり最大150万円を最長2年間交付するものです。また、国内での最長2年間の研修後に最長1年間の海外研修を行う場合には、最長3年間交付します。

なお、研修終了後は1年以内に、原則50歳未満で、独立・自営就農、雇用就農又は親元就農することなどが必要です。

本年度は、第1回目として9月及び10月に、継続・新規合わせて129名に9,600万円の資金交付を行っており、令和3年1月には第2回目の募集を行い、3月に追加も含めて第2回目の交付を予定しています。

周囲でご希望される方がいましたら、この情報をお知らせくださいますようお願いいたします。

▼ 農業次世代人材投資資金（準備型）の主な交付要件等はこちらから

(公財)北海道農業公社ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/support/O2.html>

【お問い合わせ先】 電話番号：011-271-2255

【担い手支援部】

■ 農地中間管理事業での借受には、あらかじめ公募への応募手続が必要です！

農地中間管理事業で当公社が借り受けた農地の受け手となるために必要な借受の応募は、本年10月公表分で30市町村・71件・1,141haでした。

借受希望は随時受付しておりますが、借受応募の手続を経て、公社HP上で公表（＝6月・10月・2月の年度内3回）の後に、はじめて有効となるものであり、有効期間は5年間です。

本年度内の公表は、来年2月が最後となります。地域で農地の受け手となる可能性がある方については、急な借受にも対応できるよう、事前の応募をお願いします。

<https://www.adhokkaido.or.jp/chukankikou/borrow/>

【農用地部】

■ 農村施設整備事業としての2事業を全道22地区で実施

当公社では、昭和47年度の「農業公社牧場設置事業」を皮切りに、草地の造成・整備や暗渠排水などの基本施設の整備、さらに畜舎やサイロ、家畜排せつ物処理施設などの利用施設の整備を一体的に実施してきました。

この事業は様々な変遷を経て、令和2年度においては、次の2事業を実施しています。

○ 畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）	16地区、事業費計 2,293百万円
○ 農地耕作条件改善事業	6地区、事業費計 96百万円

両事業とも、草地の造成・整備や暗渠排水などの基本施設の整備を実施していますが、畜産担い手育成総合整備事業（再編整備事業）では利用施設の整備も実施しており、本年度は下記の利用施設を整備しています。

▼ びえい地区（美瑛町）

畜舎

○整備の概要

鉄骨造 1棟 2,029.43㎡
牛床数 124床

附帯機械 搾乳ロボット 2台
バンスクレッパー 1式
バークリーナー 1式
バルククーラー 1台
自走給餌車 1台

事業費 357,445千円



▼ 豊原美原地区（別海町）

搾乳舎

○整備の概要

鉄骨造 1棟 386.54㎡

附帯機械 ローターバーラー24頭 1式
バルククーラー 1台

事業費 217,662千円



▼ 新酪中春別地区（別海町） バンカーサイロ

○整備の概要

RC造 2基 2,000,00ms

寸法
L=50.0m×W=10.25m×H=2.0m/1基

事業費 35,560千円



堆肥舎

○整備の概要

鉄骨造 1棟 621.00㎡

寸法 41.4m×15.0m×壁高2.0m

事業費 59,816千円



【農村施設部】

■ 良質な農地のために冬期間における土づくり・排水対策をお勧めします！

農用地開発整備事業では、冬期間に実施できる排水対策や土づくりに関するメニューを用意しています。

土壌凍結による後作の生育阻害抑制や病害虫の発生抑制が期待できる「雪割作業」、根圏域の拡大や排水性の向上のための「雪中心土破碎」など、低コストで実施可能な土層改良により、生産性の高い農地づくりのご準備を！

それぞれの圃場や地域特性に適した工法について、気軽に各支所事業課にご相談ください！

【農場整備部】

■ 乳用牛の導入には、是非とも公社牛貸付事業の活用を！

畜産部では乳用牛貸付事業を実施しており、毎年多くの酪農家の皆さまに乳用牛の導入の際にご活用いただいています。

本事業は、全ての酪農家が活用可能な「一般貸付型」と新規就農者限定の「農場リース型」の2通りで実施していますが、今回の押しは一般貸付型です。

この一般貸付型は非補助事業ですが、非補助だからこそ他の補助事業との重複も可能な事業となっており、貸付方法といった要件等もあるものの、可能な限り皆さまのご要望を踏まえ、検討したいと考えております。

本年度は、導入枠もまだ余裕があります（→ 200頭程度。それ以上も検討可能！2月末まで導入可能！）。是非とも、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

なお、貸付に際しては、各所属の農協を通しての事業参加となりますので、ご連絡方よろしくお願い致します。事業の詳細につきましては、当公社のホー

ホームページ https://www.adhokkaido.or.jp/to_chikusan.html をご覧いただくか、
公社畜産部（直通電話011-241-5761）までお問い合わせください。

【畜産部】

■ 十勝育成牧場の施設が竣工し、生産・供給体制を強化

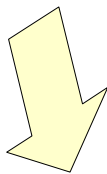
当公社が大樹町で運営する十勝育成牧場では、乳・肉用牛を1,148頭飼養（令和2年10月末現在）しており、優良で生産性の高い乳用牛の育成と肉用牛の生産を行ってきています。

この生産体制を拡充強化し、持続可能な牧場運営に資するため、老朽化が著しい施設や機械の整備・導入を昨年度から本年度にかけて実施し、この度、竣工となりました。

今後、これら施設等を有効に活用し、全道に優良な乳・肉用牛を供給するなど、本道の酪農・肉用牛の振興にさらに貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。

【整備・導入した施設・機械】〔総事業費：241百万円〕

- ① フォーレイジハーベスター（自走式） 1台
- ② ブロードキャスター（ニ施肥用機械装置） 1台
- ③ バンカーサイロ 1基（7槽）
- ④ 乳用牛育成牛舎 1棟
- ⑤ 肉用牛育成牛舎 1棟



①



②



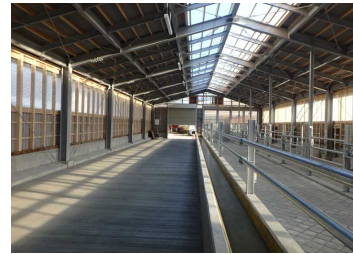
③



④



⑤



【十勝育成牧場】

公益財団法人 北海道農業公社

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑩ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL.011-241-7551(代表) FAX.011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監査室
TEL.011-241-7557

総務部
TEL.011-241-7551

担い手支援部
TEL.011-271-2255

農業経営相談室
TEL.011-522-5579

農用地部
TEL.011-241-5751

農村施設部
TEL.011-241-5701

農場整備部
TEL.011-241-7554

畜産部
TEL.011-241-5761

統括労働安全
衛生委員会
TEL.011-241-7557

支所・牧場

① 道央支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL.0126-23-2178 FAX.0126-23-4260

② 道南支所

〒040-0073 函館市宮前町33番13号 道南農業会館
TEL.0138-44-5600 FAX.0138-44-5615

③ 日胆支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館
TEL.0144-32-8171 FAX.0144-32-3215

④ 十勝支所

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協連ビル
TEL.0155-24-0254 FAX.0155-24-0261

⑤ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL.0154-22-1538 FAX.0154-25-4798

⑥ 根室支所

〒086-1006 標津郡中標津町東6条南1丁目2番地 根室農業会館
TEL.0153-72-3296 FAX.0153-73-2080

⑦ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター
TEL.0157-25-2826 FAX.0157-25-9188

⑧ 上川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA上川ビル
TEL.0166-25-2613 FAX.0166-26-3464

⑨ 道北支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL.0162-33-3321 FAX.0162-33-7339

⑩ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL.01558-7-5121 FAX.01558-7-5159